



平成30年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年9月28日

上場会社名 株式会社ハイデイ日高 上場取引所 東
 コード番号 7611 URL http://www.hiday.co.jp/ir/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 均
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営企画部長 (氏名) 島 需一 TEL 048-644-8030
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月12日 配当支払開始予定日 平成29年11月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第2四半期の業績（平成29年3月1日～平成29年8月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	20,248	5.6	2,651	3.7	2,644	4.1	1,735	6.8
29年2月期第2四半期	19,171	4.9	2,555	6.2	2,539	7.3	1,625	8.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	60.27	—
29年2月期第2四半期	56.43	—

(注) 平成29年3月1日付けで1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第2四半期	28,472	22,301	78.3
29年2月期	27,067	21,025	77.7

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期 22,301百万円 29年2月期 21,025百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	18.00	—	18.00	36.00
30年2月期	—	18.00			
30年2月期（予想）			—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成29年3月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。平成29年2月期の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。第2四半期末配当は10月11日の取締役会で決議される予定です。

3. 平成30年2月期の業績予想（平成29年3月1日～平成30年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	3.9	4,700	3.0	4,680	2.5	2,950	1.2	102.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年2月期2Q	28,899,331株	29年2月期	28,899,331株
② 期末自己株式数	30年2月期2Q	104,611株	29年2月期	97,400株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年2月期2Q	28,796,380株	29年2月期2Q	28,804,364株

(注) 平成29年3月1日付けで1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数及び期末自己株式数、期中平均株式数を算出しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成29年10月4日（水）13時30分より機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。説明資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
3. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善がみられるものの、海外経済の不確実性の高まりもあり先行き不透明な状況が続いております。

外食産業を取り巻く環境は人手不足による人件費上昇などもあり厳しい状況でありました。

このような環境のもとで、当社では引き続き首都圏600店舗体制に向けた安定的な新規出店、サービス水準向上に向けた取り組みや季節メニューの投入などを行い、業容拡大を図ってまいりました。

店舗展開については、12店舗出店(東京都9店舗、埼玉県1店舗、神奈川県1店舗、千葉県1店舗)、退店が4店舗となりましたので、8月末の直営店舗数は405店舗となりました。業態別の店舗数は「日高屋」(来来軒含む)が381店舗、「焼鳥日高」が23店舗、「中華一番」が1店舗となりました。

季節メニューとして3月、4月には毎年評価をいただいている「和風つけ麺」や「黒酢しょうゆゆやし麺」を投入しました。「モツ野菜スタミナ炒め」、「ごま味噌冷し」、「エビ辛とんこつつけ麺」という順番で季節メニューを投入しました。アルコール類が好調に推移したこともあり、既存店の3月～8月累計の売上高前年同期比は102.0%となりました。サービス水準向上に向けた取り組みを継続し、QSCの向上を目指しました。

生産・原価面につきましては、売上高の好調に加え、減価償却費の減少などもあり原価率は27.0%(前年同四半期は27.1%)となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、フレンド社員(パート・アルバイト社員の当社における呼称)の時給上昇などによる人件費の増加もあり、対売上高比は59.9%(前年同四半期は59.5%)となりました。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は202億48百万円(前年同四半期比5.6%増)、営業利益は26億51百万円(前年同四半期比3.7%増)、経常利益は26億44百万円(前年同四半期比4.1%増)と増収増益になりました。特別損失として、退職給付制度終了損56百万円、減損損失28百万円を計上しましたので、四半期純利益は17億35百万円(前年同四半期比6.8%増)となりました。

なお、飲食店チェーン関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、284億72百万円となり前期末に比べて14億4百万円増加しました。

負債合計は61億70百万円となり前期末に比べて1億28百万円増加しました。これは主に退職給付引当金の増加等によるものです。

純資産合計は、223億1百万円となり前期末に比べ12億76百万円増加しましたので、自己資本比率は78.3%(前期末77.7%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は25億78百万円(前年同四半期は21億13百万円)となり、前年同四半期に比べて4億64百万円の増加となりました。これは、税引前四半期純利益の増加、退職一時金制度廃止に伴う退職給付引当金の増加、その他流動負債に含まれる未払金、未払費用の増加等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は8億67百万円(前年同四半期は12億72百万円)となりました。これは、新規出店や改装等に伴う有形固定資産の取得による支出5億91百万円(前年同四半期は6億45百万円)、敷金及び保証金の差入による支出2億38百万円(前年同四半期は1億17百万円)等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は5億9百万円(前年同四半期は4億40百万円)となりました。これは長期借入金の返済60百万円(前年同四半期は60百万円)、配当金の支払額4億31百万円(前年同四半期は3億60百万円)等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の店舗数については新規出店28店舗、退店7店舗を予定しており、平成30年2月末の店舗数は418店舗を見込んでおります。なお、9月1日よりアルコール類中心に価格改定を行いましたが、直近の既存店の動向などを踏まえ、通期業績予想については、平成29年4月5日に開示した数値からの変更はありません。業績予想数値を達成した場合、営業利益、経常利益は15期連続で最高益の更新となります。

なお、当第2四半期末配当(中間配当)は、1株当たり18円を予定しており、正式には10月11日開催予定の取締役会で決議いたします。期末配当は、1株当たり18円を計画しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,167,239	10,384,191
売上預け金	197,339	181,672
売掛金	28,332	32,249
店舗食材	153,973	163,400
原材料及び貯蔵品	53,151	67,880
その他	629,619	701,201
流動資産合計	10,229,655	11,530,596
固定資産		
有形固定資産		
建物	11,701,119	11,880,963
減価償却累計額	△5,360,412	△5,553,270
建物(純額)	6,340,707	6,327,692
構築物	115,488	124,702
減価償却累計額	△70,729	△74,374
構築物(純額)	44,759	50,327
機械及び装置	2,228,033	2,277,531
減価償却累計額	△1,335,693	△1,437,591
機械及び装置(純額)	892,340	839,939
車両運搬具	9,559	9,559
減価償却累計額	△6,433	△7,283
車両運搬具(純額)	3,126	2,275
工具、器具及び備品	2,049,979	2,174,834
減価償却累計額	△1,537,885	△1,632,219
工具、器具及び備品(純額)	512,093	542,615
土地	1,807,544	1,807,544
建設仮勘定	13,291	1,080
有形固定資産合計	9,613,863	9,571,476
無形固定資産	124,165	183,011
投資その他の資産		
投資有価証券	155,671	141,859
敷金及び保証金	4,424,910	4,486,624
その他	2,540,174	2,579,257
貸倒引当金	△20,609	△20,489
投資その他の資産合計	7,100,147	7,187,251
固定資産合計	16,838,175	16,941,739
資産合計	27,067,831	28,472,335

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成29年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	828,922	896,709
1年内返済予定の長期借入金	120,000	120,000
未払法人税等	935,687	974,122
賞与引当金	370,968	387,820
その他	2,145,251	2,111,303
流動負債合計	4,400,830	4,489,956
固定負債		
長期借入金	90,000	30,000
退職給付引当金	514,463	593,579
資産除去債務	652,938	677,989
その他	384,313	379,313
固定負債合計	1,641,715	1,680,881
負債合計	6,042,546	6,170,838
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,625,363	1,625,363
資本剰余金	1,701,682	1,701,682
利益剰余金	17,765,388	19,069,026
自己株式	△81,521	△99,353
株主資本合計	21,010,912	22,296,719
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,372	4,777
評価・換算差額等合計	14,372	4,777
純資産合計	21,025,285	22,301,497
負債純資産合計	27,067,831	28,472,335

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	19,171,725	20,248,200
売上原価	5,202,238	5,466,069
売上総利益	13,969,487	14,782,130
販売費及び一般管理費	11,413,647	12,130,647
営業利益	2,555,839	2,651,482
営業外収益		
受取利息	900	305
受取配当金	10,067	4,754
受取賃貸料	749	9,030
補助金収入	—	8,250
その他	12,967	16,112
営業外収益合計	24,685	38,452
営業外費用		
支払利息	930	559
固定資産除却損	37,029	43,712
その他	2,858	1,301
営業外費用合計	40,819	45,573
経常利益	2,539,706	2,644,362
特別利益		
受取補償金	25,000	—
保険差益	—	14,000
特別利益合計	25,000	14,000
特別損失		
減損損失	11,152	28,915
固定資産除却損	7,786	—
災害義援金	10,321	—
退職給付制度終了損	—	56,683
特別損失合計	29,260	85,598
税引前四半期純利益	2,535,445	2,572,763
法人税等	909,882	837,096
四半期純利益	1,625,562	1,735,666

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	2,535,445	2,572,763
減価償却費	605,066	599,822
減損損失	11,152	28,915
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△120	△120
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,018	16,852
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,797	79,115
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△1,800	△300
受取利息及び受取配当金	△10,968	△5,059
支払利息	930	559
固定資産除売却損益(△は益)	37,466	39,493
受取補償金	△25,000	—
補助金収入	—	△8,250
保険差益	—	△14,000
売上債権の増減額(△は増加)	△2,804	△3,916
たな卸資産の増減額(△は増加)	△25,814	△24,156
その他の流動資産の増減額(△は増加)	17,398	△26,777
仕入債務の増減額(△は減少)	61,850	67,786
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△234,304	36,045
その他	△11,567	20,957
小計	2,964,153	3,379,732
利息及び配当金の受取額	11,053	5,089
利息の支払額	△881	△505
補償金の受取額	25,000	—
補助金の受取額	—	8,250
保険金の受取額	—	14,000
法人税等の支払額	△886,008	△828,295
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,113,317	2,578,270
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,150,000	△650,000
定期預金の払戻による収入	650,000	650,000
有形固定資産の取得による支出	△645,423	△591,315
無形固定資産の取得による支出	△56,041	△76,427
敷金及び保証金の差入による支出	△117,211	△238,455
敷金及び保証金の回収による収入	46,385	43,447
その他	7	△4,979
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,272,283	△867,729
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△60,000	△60,000
リース債務の返済による支出	△3,711	—
自己株式の取得による支出	△17,035	△17,830
配当金の支払額	△360,160	△431,424
財務活動によるキャッシュ・フロー	△440,906	△509,255
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	400,127	1,201,285
現金及び現金同等物の期首残高	6,801,925	8,209,578
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,202,052	9,410,864

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

(確定拠出年金制度への移行)

当社は、平成29年9月1日付で、確定給付制度を廃止し、確定拠出年金制度へ移行しております。これに伴い、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号 平成28年12月16日)及び「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第2号 平成19年2月7日)を適用しております。

なお、本移行に伴い、当第2四半期累計期間において、特別損失として退職給付制度終了損56,683千円を計上しております。

3. 補足情報

①業態別売上高

(単位:千円)

業態区分	前第2四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)			当第2四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)			(参考) 平成29年2月期		
	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比
日高屋	365	18,278,299	95.3	381	19,375,465	95.7	373	36,751,758	95.4
焼鳥日高	22	749,107	3.9	23	823,235	4.1	23	1,509,047	3.9
その他業態等	3	144,318	0.8	1	49,498	0.2	1	253,477	0.7
計	390	19,171,725	100.0	405	20,248,200	100.0	397	38,514,283	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 各業態の店舗数は、当該期末時点の数値を記載しております。

3. 「日高屋」は、「中華そば日高屋」「中華食堂日高屋」「来来軒」を含めております。

4. 「焼鳥日高」の店舗数増加などに伴い、業態区分を修正しております。過去の数値も修正しております。

5. 「その他業態等」は、「中華一番」、FC向けの売上高等を含めております。

②地域別売上高

(単位:千円)

地域区分	前第2四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)			当第2四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)			(参考) 平成29年2月期		
	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比
東京都	192	9,900,758	51.6	200	10,417,912	51.5	192	19,841,315	51.5
埼玉県	98	4,398,516	22.9	98	4,500,145	22.2	98	8,770,702	22.8
神奈川県	58	2,859,557	14.9	63	3,180,608	15.7	64	5,852,936	15.2
千葉県	39	1,893,618	9.9	41	2,026,662	10.0	40	3,813,282	9.9
栃木県	1	50,224	0.3	1	52,507	0.3	1	99,956	0.2
茨城県	2	69,049	0.4	2	70,363	0.3	2	136,091	0.4
計	390	19,171,725	100.0	405	20,248,200	100.0	397	38,514,283	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 地域別売上高の店舗数は、当該期末時点の数値を記載しております。

③開設店舗及び閉鎖店舗

〔開設店舗〕

- | | | | | |
|----------------------|-----------|------------------|---------------------|-------------------|
| 1. 小田急マルシェ
本厚木東口店 | 2. 蔵前駅前店 | 3. 西日暮里東口店 | 4. アクロスモール
新鎌ヶ谷店 | 5. 久我山駅前店 |
| 6. 板橋駅西口店 | 7. 大岡山店 | 8. ル・シーニュ
府中店 | 9. 尾山台店 | 10. 焼鳥日高
神田西口店 |
| 11. 大泉学園店 | 12. 草加西口店 | | | |

〔閉鎖店舗〕

- | | | | |
|-----------|-------------------|-----------------------|------------|
| 1. 蔵西口駅前店 | 2. 小田急マルシェ大
和店 | 3. 焼鳥日高小田急マ
ルシェ大和店 | 4. 来来軒 秋津店 |
|-----------|-------------------|-----------------------|------------|

(注) 店舗名のみは「日高屋」であります。